

OPEN! NUMAZU

This issue is "BOOK"

2023
vol. 05
TAKE FREE

本が並ぶ まちがどどど



老若男女、誰もが立ち寄れて様々なジャンルの本や雑誌に出会うことができる書店や本屋は、地域の文化スポットでもある。純粋に本が好きの人、何かちょっとした問題を解決したくて本を探る人、持て余した時間で本を眺める人、目的は人それぞれだが、本があることで、人が集う。また、一冊の本があれば、屋外のベンチでも公園の芝生でも街中の雑踏の中でも、自分だけの本の世界に没頭し、読書する人の姿は、静かなれど、日常のまちの景色のなかに当たり前にある。沼津のまちなかには、従来の大型書店だけでなく、本好きが始めた様々な形の本に会える場所が増えつつある。

まちなかに本があるだけで
“読む人”が主役になる景色が生まれる

リヤカー屋台で古本を行商して歩く、山仲の後藤さん。移動しながら売る行商スタイルは高い原点で、お客さんとの会話やコミュニケーションが、ただ物を売買するだけではない価値を生み出す。まちの様々な場所に本屋が出現することで、本との偶然的な出会いを楽しんだり、実際に手にとりページをめくって初めて気づく本の魅力を広げていきたい。

山仲 後藤 珠馬さん



前回のOPEN NUMAZU weekend

まちが、ひらいていく。

沼津駅

自由に使えるベンチや椅子などが設置された滞留空間
まちにひらいた取組みや敷地を活用する店舗など

OPEN NUMAZU weekend 「music」
OPEN NUMAZU weekend 「LIFEWARE」
OPEN NUMAZU weekend 「CINEMA」
OPEN NUMAZU weekend 「ART」
OPEN NUMAZU weekend 「BOOK」

沼津市立図書館(よみかぜ)
18.sat 11:00 / 13:00

旧マルサン書店
旧まんなか
仲見世パーク2前

中央公園のリニューアルに向けた「利用実証トライアル」を実施中

中央公園
あのみ橋
香貴公園

リバーブックス

最新情報はこちら
<https://lit.link/opennumazu>

アンケートにご協力ください

OPEN NUMAZUは、まちなかの公共空間を活用することなどで生まれる風景を「日常」へとつなげ、ヒト中心のまちなかを創り出していくプロジェクトです。

商店街や店舗前に、誰でも自由に使えるイス・テーブルの設置や出店などを行い、歩きたくなる、過ごしたくなる空間づくりを実践しています。これからのまちなかの新たな景色を一緒につくっていきませんか？

INFORMATION 毎月第3週の金・土・日(12月のみ第2週)に、仲見世商店街の旧マルサン書店前の滞留空間等を利用して、出店やイベントなど、公共空間活用のトライアルを行います。

11月のテーマは
ブック
11/17.fri ▶ 11/19.sun
Day time 11:00 ~ 17:00 / Night time 17:00 ~ 20:00

BOOK MARKET			
17.fri	11:00 ~ 17:00	[旧マルサン書店前] [仲見世パーク2前] [パークレット] *雨天時は旧マルサン書店前	NOSSO NOSSO *14:00まで、ginger books、古物 イサナ / NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、ぬまずっきゅーん収録*12:00~14:00 山仲 / PO1でインタビュー!、アジト「開き」*12:00から POPLY MACHI NO EKI NUMAZU(食物版)*14:00まで、古安(徳業)*14:00まで
	17:00 ~ 20:00	[旧マルサン書店前]	ヨット、あなぐまブックス、山仲 / NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、ねこと白鳥(ドリンク)、タウン・イン・タウン315(タイ料理)
18.sat	11:00 ~ 17:00	[旧マルサン書店前] [仲見世パーク2前] [旧まんなか前] [パークレット] *雨天時は旧マルサン書店前	古本屋まるちゃん、書肆猫に縁側、電ブックス 沼津市立図書館(よみかぜ)*11:00 / 13:00、健康づくり課(親子でやってみよう! 野菜クイズ)*14:00まで ふるほん又吉、古物 イサナ、山仲 / 書肆ハニカム堂(音楽)*14:00まで ぞうさん書店、Librairie B612、リバーブックス / PO2PO3でインタビュー!、つくしやブグマ スパイスキッチン kaen(カレー)*14:00まで、NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)*14:00まで
	17:00 ~ 20:00	[旧マルサン書店前]	古本屋まるちゃん、書肆猫に縁側、電ブックス、山仲 / POPLY MACHI NO EKI NUMAZU(食物版)、書肆ハニカム堂(音楽)、Calle5411(音楽/ドリンク)
19.sun	11:00 ~ 17:00	[旧マルサン書店前] [仲見世パーク2前] [旧まんなか前] [パークレット] *雨天時は旧マルサン書店前	古本屋まるちゃん、書肆猫に縁側、古物 イサナ / NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、たまちゃんのお漬物(食物版) ストリートピアノ 山仲、リバーブックス、ヨット、書肆ハニカム堂(音楽)*14:00まで 虹ブックス & 虹寛社*14:00まで、古書オンライン*16:00まで、ぞうさん書店、Librairie B612 POPLY MACHI NO EKI NUMAZU(食物版)*14:00まで、オビワズカフェ(ハンバーガー)*14:00まで
	17:00 ~ 20:00	[旧マルサン書店前]	古本屋まるちゃん、山仲、書肆猫に縁側 / NUMAZU COFFEE LAB(コーヒー)、タウン・イン・タウン315(タイ料理)、書肆ハニカム堂(音楽)
全日	11:00 ~ 17:00	[旧マルサン書店内]	KAN KAN MARKET まちで使われなくなった家具などを記憶と共に「贈らせ(めぐらせ)」、地域に「運る(まわす)」プロジェクト

*詳細はInstagram、facebookをご確認ください *一部店舗は営業時間が異なる場合があります

JOIN! OPEN NUMAZUの取り組みに興味がある方はお気軽にご連絡ください。沼津の未来を共に考える仲間を募集しています。
OPEN NUMAZU運営事務局 e-mail open.numazu@gmail.com

このタブロイドは、OPEN NUMAZUでつくる新たな風景とともに、地域のみなさんの取り組みを身近な自分ごとと感じてもらいながら、場と心と未来を共にひらいていく地域密着のフリーペーパーです。



ONLY NEED BOOKS

ワ
タ
シ
ノ
セ
カ
イ

本を通して 人の個性がまちに滲み出す

本棚を見ると、その人がわかる。好きなもの、興味のあること、一人一人の個性が凝縮して、自分の本棚をみられるのは少し恥ずかしい気持ちにもなる。そんなみんなの本棚が通りにまで滲み出している図書館は、つい立ち止まって本棚に入ってしまう。あの人はこんな本が好きなのか。この本のセレクト、いいな。個性溢れる一つ一つの本棚で、まちの人を知ることができる。実際には会っていないのに、その人をよく知った気になってしまう。本の魅力。



非日常の本の世界を 日常にひらく

通りにオープンに開いた入口や窓、カウンターから、本の香りがまちに滲み出す。前を通ると、ついつい中を覗いてしまう本屋。本好きだけでなく、ご近所のおじいちゃんおばあちゃん、子どもたち、近隣店舗のご主人、偶然通りかかった地域外の人、実に様々な人が店を覗いては、ちいさな会話が生まれる。「本は、自分の知らない人の人生を知ることができ、世界が広がるのが好き。」小さいスペースだからこそ、出会うことができる本がある。いつものまちに開かれたこの本屋の窓が、自分の知らない目眩く非日常の世界に繋がっていると思うと、ついつい覗き込んでしまいたくなる。

ム
ゲ
ン
ニ
ヒ
ロ
ガ
ル

ホ
ン
ノ
セ
カ
イ

ONLY LOVED BOOKS



下本町・リバーブックス
江本さん



みんなの図書館 さんかく沼津は、一箱本棚オーナーの個性が詰まった本棚がずらりと並び、みんなでつくる私設図書館。Library of the Year 2023 受賞。誰でもふらりと立ち寄り、誰かのオススメする本をゆっくり読んだり、借りたりできる。本棚オーナーは随時募集中。オープンから3年で400冊以上借りる常連もあり、地域の日常になくはない存在に。本を読むだけではない思いがけない交流が生まれたり、自分の好きな本を通して人とコミュニケーションする新しいカタチの図書館は、いつでもまちにオープンに開いている。

高島町・みんなの図書館 さんかく沼津
小林さん(ぬましんCOMPASS)

